



空調設備コマンド

ダクト入力	ホップ・角丸	隠れ線処理	サイズ表記
単線・複線ダクトが線を描く要領で入力できます。配置されたダクトの任意の場所をクリックするだけで、“直付け”や“割り込み”などの分岐が簡単に行なえます。	ダクト入力中のサイズ変更により、片ホップ・両ホップが自動的に挿入されます。また、入力途中に角ダクトから丸ダクトに変更すると角丸が発生し挿入されます。	ダクトの上下関係を表す陰線処理、ダクト入力時の高さ属性をもとに上下の位置を判断し下側にあたる方のダクト部分をカット処理または点線表現に変換します。	ダクト入力時の情報を基に、角ダクトの場合は幅と高さ、丸ダクトの場合は径を表記します。また、ダクト情報を抽出して他のダクトに変更表記することもできます。
編集	消音エルボ	付加機能	設定
ダクトの位置変更や長さ変更がパラメトリック機能で簡単にできます。寸法線の寸法値も同時に変更されますので、編集時の抜け落ちがなくなります。その他、立ち上がり・立ち下がりの表現も簡単にでき、ダクトサイズの変更もワンタッチで行うことができます。	ダクト部分ををクリックするだけで消音部表現のハッチング(斜線処理)を行うことができます。	ダクトを指定するだけでサイズが表記されます。ダクトサイズの他に種別記号等が入力時の情報を基に、表記されます。流れの向きの矢印やUP/DOWNを表記する矢印や引出線による表記など豊富なツールを用意しています。	フランジサイズ・中心線の有無・文字表記に関するベン番号、サイズ・消音部やキャンパス継手などのハッチングピッチなどのダクト関連部分に関して詳細に設定項目を設けているので、表現豊かな図面を書き上げることができます。

動作環境

- 日本語 Windows7, Windows8, Windows10
- CPU クロック周波数 1GHz以上推奨
- メモリ 1GB 以上推奨
- CD-ROM 必須
- インストールに必要なハードディスク容量約 1GB

※Windows7, Windows8, Windows10 は米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標です。



提供媒体: CD-ROM

画面解像度: 1024×768

設備シリーズ

◆ ZeroCAD 電気設備

・屋内電気設備図面および各種申請書・添付図面の作成
電気記号シンボルー配線コマンドー条数記号ー交差記号ー技術計算ーラックシンボルー記号一括変更

◆ ZeroCAD 衛生設備

・屋内衛生設備図面および各種申請書・添付図面の作成
配管コマンド(DV・MD・ドレネジ・鋳鉄管等)ー各種継手類ー単線⇄複線自動変換ー縦断面図作成機能

お問い合わせ

アークシステム株式会社

本 社 〒220-0011
神奈川県横浜市西区高島2丁目6番32号
横浜東口ウエストビル4F
TEL 045-451-5121 FAX 045-451-5123

パートナー



ホームページ <https://zerocad.jp>



Eメール kensetsu-products@ark-sys.co.jp

ZERO CAD 12

Twelve

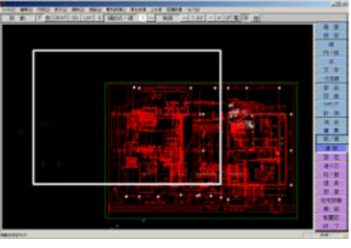
AirConditioner



©ARK SYSTEM Co.,Ltd. All Rights Reserved.

ZEROCAD バージョン12の新しい機能

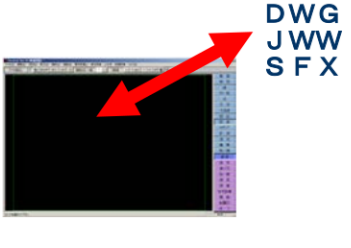
・移動時に枠だけ表示することで、大量のデータもスムーズに移動できるようになりました。



・JPEGの貼り付けでZEROCADに取り込んだJPEGが、以前よりきれいに表示されます。



・DXF、DWG、JWWなどのファイル読み込み、保存を1つのコマンドから呼び出せます。



・DXF、DWG、JWWなどのファイルを、開かず一覧画面で選び、呼び出せます。

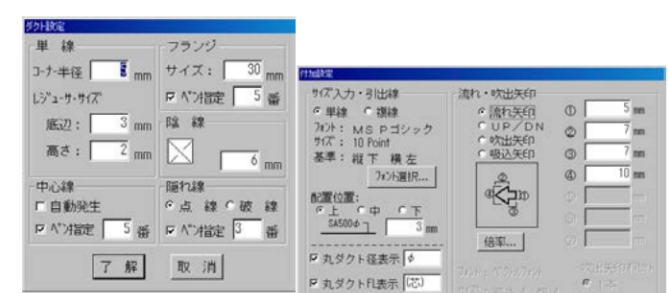


申請図や設計図、施工図までを幅広く、誰にも簡単に使えるのがZeroCADです。

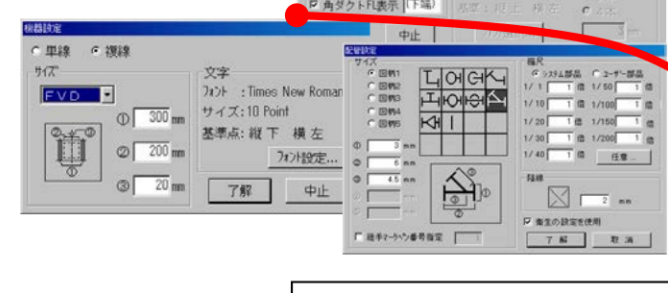
WindowsCADが今まで使いづらいとされてきた大きな理由は、GUIにこだわり過ぎて、プルダウンメニューと小さなアイコンですべての作業をこなそうとした事にあり、結局はどのCADも同じ顔でユーザーに使いづらさを強いるだけでした。ZeroCADは、頻繁に使うコマンド（ツール）を右クリックで手元に呼び出すPOPUPメニューと画面横のコマンドバーを文字通り呼び出すサイドプルメニューで作図します。

Human Technology Easy Interface

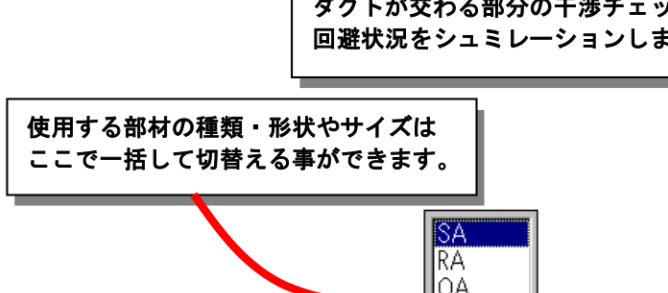
ダクトが交わる部分の干渉チェックを行い回避状況をシュミレーションします。



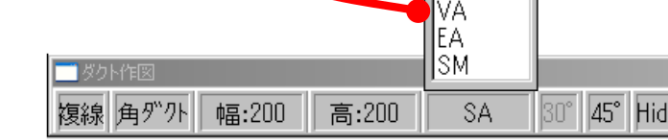
使用する部材の種類・形状やサイズはここで一括して切替える事ができます。



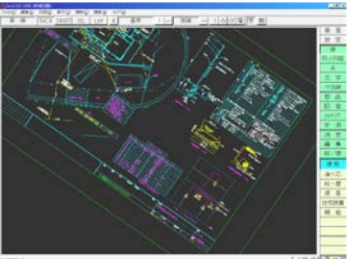
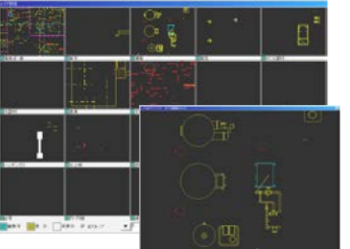
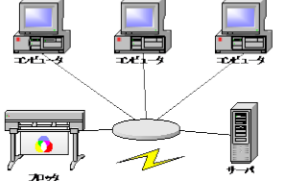
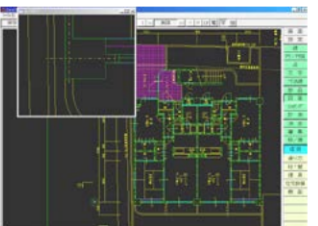
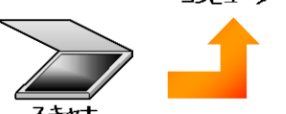
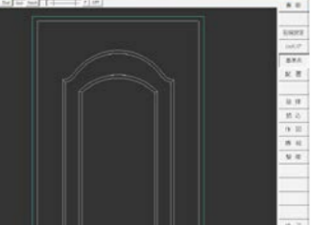
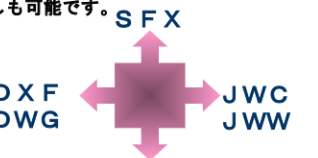
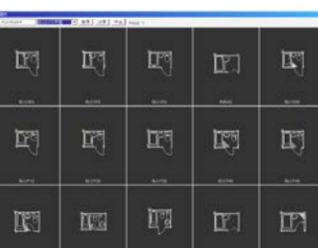
各種設定を登録しておけば図面ごとに修正の必要はありません。



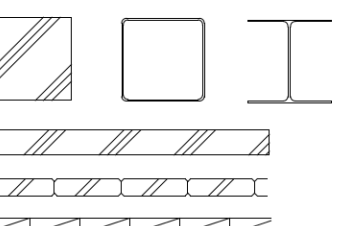
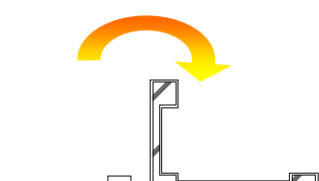
マウスの右クリックで頻繁に使うコマンドがPOPUPします。



基本／汎用コマンド

True Type フォント Windowsで利用できる高品位のフォントを使って美しい図面を作成することができます。大きな図面タイトルの作成も自由です。 日本語 日本語 日本語 1200 ABC ABC ABC ABC abc abc abc abc	用紙を傾けて作図 用紙方向に対して斜めに作図を行なう場合は画面回転機能で用紙を傾けて作図できます。傾けることによって驚くほど操作が容易になります。 	無制限のUNDO/REDO UNDO（一つ前の作業工程に戻す）に回数制限がないので、気が付いた時点で何回も前の工程の状態に戻すことができます。また、作業終了後もデータ保存をしておけば次の電源投入時にもその履歴情報はちゃんと残っています。この機能により図面の修正箇所や修正前の数値や表現を最終段階からでも目で確認する事ができます。 	PDF 読み込み PDF内のベクトルデータを読み込み、ZEROCADのデータに変換することができます。縮尺が変わってしまったデータも縮尺補正機能で読み込んだデータ全体を拡大、縮小できます。 
自動割振りレイヤ機能 グラフィカル表示レイヤを1024桁それぞれ編集可・編集不可・非表示で学習機能でコマンドごとにレイヤを自動振り分ける使えるレイヤです。 	ネットワーク対応 作成した図面データや部品データを、ネットワークで共有する事により作業時間やうっかりミスを大幅にカットすることができます。また、複数台数の印刷機器に効率よく出力できるのも魅力的です。 	ルーペウインドウ機能 全体図を見ながら部分作図を自在にできます。ウインドウは伸縮移動自在で複数の表示が可能。ルーペからルーペへまたがっての作図もおこなえます。 	ラスターデータ表示 スキャナーで読み取ったA3サイズまでのラスターデータの画面表示をおこなう事ができます。データ形式はPCXとBMPのモノクロデータに限ります。PDFのラスターデータも読み込むことができます。 
バックアップ機能 万が一の操作中での電源OFFやシステムダウンにも自動バックアップ機能があれば安心ですね。バックアップの頻度や履歴数の設定もおこなえます。（システムダウンの程度によっては救済できない場合もあります。） 	パラメトリック部品登録 部品の各辺に変数設定が可能。選択時に数値を入れ変形配置することができます。包絡設定をしておけば、配置した部品の下にある図形は自動的に削除されるので消去の手間が省けます。 	外部ファイル変換 CAD間の標準変換形式DXFへの入出力はもちろんのこと、DWG/JWW/JWW/SFXのファイル形式の変換、縮尺の補正も行なうことができます。また、Windowsのグラフィック標準形式のBMPやWMFの形式もサポートしていますのでクリップボードを使ってワープロや表計算ソフトへの受け渡しも可能です。 	グラフィック表示の部品配置 部品の内容をグラフィックと部品名称で表示しますので、直接的に選択できます。また、配置の際はラバー表示されますので入力したい位置に確実にのせることができます。 

建築／専用コマンド

各工法対応の躯体作図機 柱：RC/S/木 壁：RC/S/木/CB/ALC/軽鉄 一般計画設計用、詳細図用等にあつた部材を用意。通り芯上に自動配置する機能で容易に入力することができます。 	便利な自動機能 躯体自動包絡（RC造での不要な柱・壁線の重なりを自動補正します。） 躯体ハッチング（RC造柱・壁への斜め3本線の自動発生。） 建具開口処理（柱を配置した時点で重なりあう壁部分を自動消去。） その他、仕上げ線自動作成等。 	標準建具も豊富に登録 躯体の仕上げ別（一般・打放し・仕上げ有・ALC等）、図面表現別（平面図・断面図・立面図・展開図）を項目別に用意しています。これらの建具部材は壁上に配置すると壁線を自動消去する機能があります。 	カラーボード機能 作成した平面図や立面図を着色しカラー出力ができます。また、CDカタログなどからの画像データを取り込み、CAD画面の上に貼り付けることも行なえます。 
---	--	---	---